

かしま 議会だより

第71号

平成25年1月



特集

伊能忠敬来鹿200年祭

議会運営委員会行政視察

年初行事への参加

今回の記事・企画

伊能忠敬来鹿200年祭	2P
12月定例会日程と議案	3~5P
議案審議	6~7P
一般質問	8~12P
行政視察報告	14~15P
議会あれこれ	16P

伊能忠敬 来鹿200年祭

伊能忠敬の来鹿200年を記念して市内各所で記念事業が行われました。

①北鹿島ふるさとまつり

日時:10月21日(日)9:00~

場所:諸国屋一帯

伊能忠敬一行が宿泊した諸国屋旅館を中心に、歩行者天国で大イベント

- まちなか音楽会
(中・高校生プラスバンド/園児マーチング/和太鼓)
- 小学生の伊能研究発表会
- ゆるキャラ大集合
- 地場産品直売、チャリティーバザー ほか多数



② みつけてみよう鹿島の歴史と個店 “繋がる200年”

日時:10月21日(日)9:00~

場所:中心商店街

- 「鹿島錦」再発見(実演・体験・展示・販売)
モザイクタイルで「鹿島錦」
- 伊能忠敬ゆかりの香取市の物産展
(もちろん鹿島の発酵商品も)
- まちなか「お見合い」賞品多数準備
- 第5回ほとめきまつり開催
- 花がもてなすまちなか博物館事業(同時開催)

③秋の蔵々まつり

日時:10月21日(日)10:00~17:00

場所:肥前浜宿保存地区

- 蔵開き/地酒販売試飲
- 全国SAKEグランプリ飲み比べ
- 音まつり



④伊能忠敬が 食した食事再現

日時:10月21日(日)10:00~

場所:道の駅鹿島

- 伊能忠敬が泊った宿新発見
- 伊能忠敬が食した食事の再現、試食

十二月定例会

平成24年鹿島市議会

12月定例会会期日程

1. 会期

自 平成24年12月3日
至 平成24年12月25日

2. 日程

〔12月〕

3日・開会

・ 会議録署名議員の指名

・ 会期の決定

・ 議案の一括上程
(市長の提案理由説明)

・ 議案審議、質疑、
討論、採決

4日・休会 (議案研究)

5日・休会 (議案研究)

6日・休会 (議案研究)

・ 発言内容通告締切
(正午)

7日・休会 (議案研究)

8日・休会

9日・休会

10日・委員長報告、議案審議

・ 質疑、討論、採決

11日・議案審議、質疑、
討論、採決

12日・休会 (議案研究)

13日・休会 (議案研究)

14日・常任委員会
(議案・請願)

15日・休会

定例会

議案

- 16日・休会
- 17日・一般質問 (3名)
- 18日・一般質問 (3名)
- 19日・一般質問 (3名)
- 20日・休会 (議案研究)
- 21日・議案審議、質疑、
討論、採決
- 22日・休会
- 23日・休会
- 24日・休会
- 25日・委員長報告、議案審議
・ 質疑、討論、採決
・ 閉会
- (1) 議案第51号 平成23年
度鹿島市一般会計歳入
歳出決算認定について
- (2) 議案第52号 平成23年
鹿島市公共下水道事業
特別会計歳入歳出決算
認定について
- (3) 議案第53号 平成23年
度鹿島市谷田工場団地
造成・分譲事業特別会
計歳入歳出決算認定に
ついて
- (4) 議案第54号 平成23年
度鹿島市国民健康保険
特別会計歳入歳出決算
認定について
- (5) 議案第55号 平成23年
度鹿島市後期高齢者医
療特別会計歳入歳出決
算認定について
- (6) 議案第56号 平成23年
度鹿島市給与管理特別
会計歳入歳出決算認定
について
- (7) 報告第11号 専決処分
事項の報告について
(事故による損害の賠
償)
- (8) 議案第58号 財産の取
得について
- (9) 議案第59号 専決処分
事項の承認について
(平成24年度鹿島市一
般会計補正予算(第3
号))
- (10) 議案第60号 鹿島市空
き家等の適正管理に関
する条例の制定につ
いて
- (11) 議案第61号 鹿島市定
住促進住宅条例の制定
について
- (12) 議案第62号 鹿島市部
設置条例の一部を改正
する条例について
- (13) 議案第63号 鹿島市暴
力団排除条例の一部を
改正する条例について
- (14) 議案第64号 鹿島市防
災会議条例及び鹿島市
災害対策本部条例の一
部を改正する条例につ
いて
- (15) 議案第65号 鹿島市職
員給与条例の一部を改
正する条例について
- (16) 議案第66号 鹿島市税
条例の一部を改正する
条例について
- (17) 議案第67号 平成24年
度鹿島市一般会計補正
予算(第4号)につ
いて
- (18) 議案第68号 平成24年
度鹿島市公共下水道事
業特別会計補正予算
(第3号) について
- (19) 議案第69号 平成24年
度鹿島市水道事業会計
補正予算(第1号)に
ついて
- (20) 議案第70号 辺地に係
る公共的施設の総合整
備計画について
- (21) 議案第71号 鹿島公民
館の指定管理者の指定
について
- (22) 議案第72号 能古見公
民館及び鹿島市のごみ
ふれあい楽習館の指定
管理者の指定について
- (23) 議案第73号 古枝公民
館及び鹿島市林業セン
ターの指定管理者の指
定について
- (24) 議案第74号 浜公民館
及び鹿島市臥竜ヶ岡体
育館の指定管理者の指
定について
- (25) 議案第75号 北鹿島公
民館の指定管理者の指
定について
- (26) 議案第76号 七浦公民
館及び鹿島市漁村セン
ターの指定管理者の指
定について
- (27) 議案第77号 鹿島市休
日子どもクリニックの
指定管理者の指定につ
いて
- (28) 議案第78号 佐賀県市
町総合事務組合を組織
する地方公共団体の数
の減少及び規約の変更
に係る協議について
- (29) 議案第79号 佐賀県後
期高齢者医療広域連合
規約の変更に係る協議
について
- (30) 議案第80号 鹿島市教
育委員会委員の任命に
ついて
- (31) 議案第81号 鹿島市教
育委員会委員の任命に
ついて
- (32) 諮問第2号 人権擁護
委員候補者の推薦につ
いて
- (33) 議案第2号 鹿島市議
会委員会条例の一部を
改正する条例について
- (34) 議案第3号 鹿島市議
会会議規則の一部を改
正する規則について
- (35) 意見書第6号 TTP
交渉参加に反対する意
見書(案)
- (36) 鹿島市農業委員会委員
の推薦について



次の事を審議し決定しました

【12月定例会】

議案第51号	(継続審査議案)平成23年度鹿島市一般会計歳入歳出決算認定について
議案第52号	(継続審査議案)平成23年度鹿島市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第53号	(継続審査議案)平成23年度鹿島市谷田工場団地造成・分譲事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第54号	(継続審査議案)平成23年度鹿島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
議案第55号	(継続審査議案)平成23年度鹿島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
議案第56号	(継続審査議案)平成23年度鹿島市給与管理特別会計歳入歳出決算認定について
議案第58号	財産の取得について
議案第59号	専決処分事項の承認について(平成24年度鹿島市一般会計補正予算(第3号))
議案第60号	鹿島市空き家等の適正管理に関する条例の制定について
議案第61号	鹿島市定住促進住宅条例の制定について
議案第62号	鹿島市部設置条例の一部を改正する条例について
議案第63号	鹿島市暴力団排除条例の一部を改正する条例について
議案第64号	鹿島市防災会議条例及び鹿島市災害対策本部条例の一部を改正する条例について
議案第65号	鹿島市職員給与条例の一部を改正する条例について
議案第66号	鹿島市税条例の一部を改正する条例について
議案第67号	平成24年度鹿島市一般会計補正予算(第4号)について
議案第68号	平成24年度鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)について
議案第69号	平成24年度鹿島市水道事業会計補正予算(第1号)について
議案第70号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画について
議案第71号	鹿島公民館の指定管理者の指定について
議案第72号	能古見公民館及び鹿島市のごみふれあい楽習館の指定管理者の指定について
議案第73号	古枝公民館及び鹿島市林業センターの指定管理者の指定について
議案第74号	浜公民館及び鹿島市臥竜ヶ岡体育館の指定管理者の指定について
議案第75号	北鹿島公民館の指定管理者の指定について
議案第76号	七浦公民館及び鹿島市漁村センターの指定管理者の指定について
議案第77号	鹿島市休日子どもクリニックの指定管理者の指定について
議案第78号	佐賀県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更に係る協議について
議案第79号	佐賀県後期高齢者医療広域連合規約の変更に係る協議について
議案第80号	鹿島市教育委員会委員の任命について
議案第81号	鹿島市教育委員会委員の任命について
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について
その他	鹿島市農業委員会委員の推薦について
議員提案第2号	鹿島市議会委員会条例の一部を改正する条例について
議員提案第3号	鹿島市議会会議規則の一部を改正する規則について
意見書第6号	TPP交渉参加に反対する意見書

議案審議

議案審議

議案第59号

専決処分事項の承認について
(気持ちよく投票できる環境は整っているか！)



稲富 雅和 議員

質問 投票当日は7時から20時までで市内14ヶ所の投票場となっていて、この12月の非常に寒い投票日にな

りそうだが、暖房器具、燃料費も含まれているのかお聞きします。

答弁 14ヶ所によっては状況が違い、中にはエアコン、ストーブがあり民間施設は使わせてもらう予定。市の施設で暖房施設が無いところは、ストーブ持ち込み、灯油代の予算措置はしている。

議案第60号
空き家等の適正管理に関する条例について



角田 一美 議員

質問 条例の適用対象となる危険な状態にある空き家などの程度あるのか。

撤去費用等に対して助成する条項が設けられているが、どのような場合に助成されるのか。

答弁 空き家は172戸のうち区長さんから見ると管理不全と思われる建物が81棟、また、防災防犯上問題で危険な状態にある建物が19棟ある。高齢者のみの世帯が多く存在し今後増加するものと思われる。

危険性があり緊急に撤去を必要とするもので助言・勧告に従って撤去した場合、資力のない方を対象に一定の制限をかけるながら助成してまいりたい。

議案第61号

鹿島市定住促進住宅条例の制定について



水頭 喜弘 議員

質問 第1条に「この条例は、定住促進住宅を設置することにより、鹿島市への移住及び定住を促進し、もって地域の活性化及び住民福祉の向上を図ることを目的とする」とあります。市外の子育て世帯を優先し、

その方への優遇措置をとられていますが、市外から転入された方が安心されるよう快適な住環境の整備が必要と考えますが、他の住宅においても網による塀が侵入しないよう対策がとられていますか？

答弁 5階の方では対策は既にしてある。今後住民説明会を開催するのでそこで意見を聞く。

議案第61号
鹿島市定住促進条例について



中村 一亮 議員

質問 雇用促進住宅にはどういう人が入居しやすいのか？また、今後定住促進住宅入居の情報をどうやって告知していくのか？

答弁 入居の条件として鹿島市で働く人達。そして市

外の方や子育て世代の方を優先して入居させる。応募が多かった場合は、市外の子育て世代の家族を優先して入居させる。家賃設定や敷金免除などの優遇措置も考えている。

告知方法としては、市の広報誌やインターネット、また市内の企業をそれぞれ訪問して、鹿島で働く従業員の皆様に雇用促進住宅について周知徹底していく。

議案第62号

部設置条例改正



松尾 征子 議員

質問 部全体の職員がお互いに業務を補いながらやっっていくのでよくなるということですが、部制が始まったがよくなったと思うのか。

答弁 組織として機能してきたと評価する。職員を減らしてきたことで今のまま

で住民サービスに支障をきたすことがあるので提案している。

質問 部制が敷かれた後、周りの仕事が補えていない部署は多く、良くなったという感覚はない。今の枠内で組織替えをしてもサービス向上には繋がらない。この案には賛同できない。

答弁 住民サービスの低下は出来ない。向上させるために限られた人数で見直していく。

議案第67号

一般会計補正予算第3号 農政事業費



福井 正 議員

質問 農業事業費に新しい加工特産品販売促進事業の項目があるが、加工食品の開発は、消費者に受け入れられるには、品質やパッケージ、流通販売など困難な面があるが、開発する加

工食品はなにか。流通販売方法と誰が開発製造するのか。

答弁 通常の三倍のオレイン酸を含む大豆を耕作放棄地で栽培し、ドレッシング用マヨネーズを三原豆腐で開発製造し、ICRで流通販売を行う予定。名称は「ソイソイ」を予定している。

議案審議

議案第67号

耕作放棄地対策について



橋爪 敏 議員

質問 耕作放棄地対策等を目的に、多良岳オレンジ海道を活かす会が、鹿島市、太良町、JA、県、多良岳土地改良区等により設立され検討されているが、その経過は。

また、25年度予算の考えは。

答弁 JA、太良町、鹿島市で構成するオレンジ海道を活かす会が設立され、現在、その作業部会で取り組むべき事業等が検討されている。その会の設立目的は、地域の活性化であり、先ず耕作放棄地対策をメインとした事業に取り組みることとなる。

予算については、三者が合意できる事業について、鹿島市も計上する予定である。

議案第67号

一般会計補正予算「廃棄物処理事業について」



勝屋 弘貞 議員

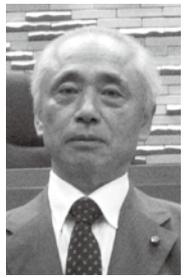
質問 資源物手数料の減額理由と資源物回収の現状・啓発についての取り組みは。

答弁 地区公民館で集めている新聞・雑誌・段ボール・古着の4品目についての資源物収集運搬手数料は、基本的には資源物の市場価格が1kg5円を下回った場合に支出している。今回、古着以外の3品については、5円を上回っているため、その分を減額する。

現在、各ゴミステーションにおいては、8品目分別においてのゴミ分別を行っていて、市報においてコーナーをつくり啓発に努めている。学校においても、幼き頃からの習慣付けということで、資源ごみ分別を指導している。

議案第67号

鹿島市一般会計補正予算(第4号)



松本 末治 議員

質問 社会教育総務費(田沢記念館活動事交付金)は、市として百万円だが増額計画は出来ないか?又、スポーツ振興事業費の増額があつているがクロカンコース延長とコースで暗い場所への照明灯の設置計画はどのようになっているか?

答弁 田沢記念館交付金増額はできないが、事業の活用

動利用料で補充してもらおう。クロカンコースは野球場周囲コース1.5kmほど伸びる計画。照明灯については、現状でもかなり対応出来ていると思うが、暗い所があれば調査して対応したい。



議案第70号

中木庭ダム周辺施設の総合整備計画について



角田 一美 議員

質問 現行の整備計画は、今年度で終了するが当初計画からすると農産物等販売施設が実現できず地域農業

の活性化までは至っていない。今後の整備計画の事業内容及び年割額はどうなっているのか。

答弁 集客施設と地域農産物等の流通販売施設を後期計画として来年度から5カ年計画で総事業費1億6千5百万円を見込み地域農業の活性化を図りたい。

い。

辺地総合整備計画については議会の議決が必要である。また実現には、地元で十分な議論をして頂きご理解とご協力をお願いしたい。



議案第71号、76号関連質問

6地区公民館の指定管理の指定について



伊東 茂 議員

位置付けとして嘱託職員については勤勉手当の支給対象外であり現時点では主事への勤勉手当は考えていない。

質問 地区公民館の指定管理制度がスタートして5年が経過した。地元振興会の自主的な運営により地域に密着した事業の展開が行われ公民館職員(主事)と地元住民との関係も良好と感じている。継続的な管理委託を行うにあたり、主事の勤務年数の経験度や、休日出勤の多さなどの貢献度を鑑み勤勉手当の支給が出来るのか検討すべきである。

答弁(副市長) 指定管理施設の単年度の事業報告、収支決算書を見ても黒字額(余剰金額)は勤勉手当が出せる額ではない。また、



一般質問

一般質問

「いじめ」のない学校と社会を



松尾 征子 議員

質問一 いじめは大きな社会問題になっていく。今のいじめは以前と違い相手を死ぬまで追い詰める暴力性、人権侵害性が強まり相手が苦しむのを見て楽しむ病理性も一部には生まれていると言われる。いじめは「暴力であり、人権侵害」だと思ふ。いじめについて教育長の見解を。又、何でいじめが起こると思われるのか。

答弁 加害者、被害者だけの問題ではなく、学校全体の重要な問題として受け止め、徹底して取り組まなければならぬ。教師と児童生徒間の教育活動が問われるもの。一人ひとりの生徒を尊重していく。道徳教育で価値観を育てる。分かりやすい授業に取り組むこと。指導の充実をはかり、楽しんで、生きいきした学校生活を送れるようにすること、人間関係や生活経験を生かした者にすることが重要。家庭においては、温かい家庭生活を送ることに力を入れてほしい。信頼関係に基づき、厳しさとか、深い愛情、精神的な支えで子どもを育ててほしい。

省から出された基本方針に基づいて取り組まれてきている。文章に書かれただけでいいと思われるのか。

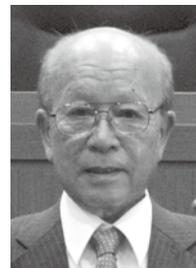
答弁 社会全体政治の問題に大きな関わりがあるとされる。学校で出来ることは精いっぱい力を入れてやっていく。

質問三 先生達が余りにも忙しすぎると言われている。ゆとりある体制作りのために教職員の数を増やして取り組む必要があると思う。

答弁 教職員の数が増えることを望んでいる。県内教育長会等でも要望等を上げていたりしている。市としては今年緊急雇用があったが来年度は厳しい。予定していたものを削ってでも人員を配置したい。



西部広域環境組合のごみ処理施設建設に伴う鹿島市の負担



福井 正 議員

質問一 伊万里市松浦町に建設予定のごみ焼却施設は焼却炉が、新日鉄住金エイジ・新明和特定共同企業体のガス化溶融シャフト炉に広域議会で決定した。

また、用地造成費や取り付け道路建設費造

千葉県香取市との姉妹都市締結

質問二 千葉県香取市とは、鹿島初代藩主鍋島忠茂公が、徳川家より五千石の領地を拝領された土地であり、今年には伊能忠敬鹿島測量200周年にあたり鹿島でも記念イベントが開催されている。伊能家は佐原の重伝建地区

成費、松浦町への振興策、運転経費等、現在の杵藤広域クリーンセンターへの負担金より上昇が予想される。また、焼却炉建設に伴う起債の負担も発生し、鹿島市の予算運営にも影響が予想される。それらの建設費などと、鹿島市の負担の予測は。また、鹿島市はリサイクルに取り組んでいるが、これらの再生可能ゴミを焼却処分する

ことがないか。

答弁 建設費は、焼却炉139億2千5百万円。落札率98.9%、用地取得費約7千8百万円、用地造成、取り付け道路建設費、約8億1千4百万円、振興策は協議中、鹿島市の負担割合は12.5%であり、運転経費等が年1億9千万、起債の鹿島市の負担8億7千万程度である。再生可能ゴミの焼却は行わない。

し大歓迎を受けた。香取市側は姉妹都市締結に熱心であり、前向きに必要な段取りを進めて行きたいと思う。

この様に縁が深い香取市と姉妹都市締結をされても良いと思うが市長の考えは。

答弁 先日鹿島の子供達9名が香取市を訪問



鹿島ニューデール構想(市民交流プラザ・ピオ)について



伊東 茂 議員

質問一 構想が発表され半年が経つ。公的施設の設置へ向け、庁内プロジェクトチームの進捗状況とピオとの調整は(家賃・共益費・改装費など)進んでいるのか?

答弁 (担当課部長)

7月にまちづくり推進構想・庁内調整会議室を立ち上げ現在までに7回の会議と関係機関との調整に当たり、課題と要望について議論を深めている。ピオとの間では入居する施設の調整・費用の見積もり・施設整備の資金計画を進めている。来年1月には正式に発表できる。

地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律について(歴史まちづくり法)

質問一 城内地区に関わる武家屋敷群や旭ヶ岡公園の整備を今、考える必要がある。赤門の壁の修復、お堀や公園内の水路の整備、記念碑の手入れ、松陰神社の修復により歴史を想い偲ぶ景観が広がり、鹿島城址公園として生

答弁 (市長)

私達が後世に伝えなければならぬ物、様々な事情により時間の経過と共に消え去ろうとしている物を市がどう守れるか考えなければならぬ。国の事



質問二 充実した各階の公的施設整備には市民からの意見や情報などを反映させるパブリックコメントの実施が必要と感ずるが対応を考えているか?

答弁 (担当課部長)

市長諮問機関である、まちづくり懇話会にて交流プラザ・ピオの課題を取り上げ、団体からの意見交換と議論を行う。また、必要に応じて市民説明会の開催を考える。

子供たちへのワクチン接種について



勝屋 弘貞 議員

質問一 予防接種について。鹿島市の免疫水準を確保するための勸奨状況と、安全性と予防対策についての考え

は?

答弁 定期一類(ポリオ、ジフテリア、百日咳、破傷風、麻疹、風しん、日本脳炎、BCG)は全額助成。任意接種では子宮頸がん等、無料のものや、インフルエンザ等、一部負担のものがある。母子手帳交付時、園や

市民の健康促進について

質問二 体力増進という点から、学校における子供たちの体力向上についての取り組みと、保護者の意識を高めるような取り組みは?

答弁 低学年より、指導要領に「体づくり運動」が示されている。浜小では文科省委嘱の「子どもの体力向上支援事業」で、運動能力・習慣改善等、

具体的な方策提案・実施を行い、成果が見られているので、市全校の子どもたちの体力向上に繋げていきたい。保護者を巻き込んだ講習会等を行っているが、一人の社会人としての認識を持つてもらうことが、子供にも波及するし、家庭においての十分な教育に繋がると考える。

質問三 スポーツ競技において、指導者の育成は不可欠と思うが、ライセンス更新・受講料等の助成はできないか?

答弁 地域の子どもたちのために、情熱を持って取り組んでもらっているのが現状だと思ふ。カリキュラム・指導者ライセンス・更新料など、いろいろあるし、社会教育の面からみると文科系の指導者もいる。何を対象に、誰に助成するのかということを整理が必要。今は検討できていない状況である。

一般質問

一般質問

将来に過度の負担を回さない、という面から生活保護制度、教育予算、収入と支出について質問。



竹下 勇議員

質問一〇 生活保護の制度と現状について

答弁一〇 給付には、生活扶助、教育扶助、住宅扶助、医療扶助など8項目あり、介護保険料、市民税、医療費などの負担は免除。

質問一一 家族や親族がいても受給できるのか

答弁一一 同居は家族全員の収入で判断し、別世帯は送り等がでないか相談をしている。

質問一二 例えば、75歳で一人暮らしの、年金生活と保護費を比較するとどうなるか。

答弁一二 国民年金は、満額で78万6千5

百円、保護費73万2千9百80円となる。介護保険の負担は、2万2千円程度、医療費は1割負担で、保護世帯はいずれも自己負担なし。

質問二 23年度決算で、教材、給食、特別に支援を必要とする子供達を対象とした事業費のバランスと、教育関連の事業計画の決定方法について

答弁二 教材で3千8百59万、給食関係で5千6百33万、特別支援関連事業で5千9百50万、地域連携で914万。事業計画は、教育委員会事務局で案を作り教育委員会(5人)で承認。

質問三 市の収入の過去10年の動きについて

答弁三 税別には減収もあるが、税収の約50%を占める固定資産

税が、ほぼ横ばいで、税収全体では安定している。

質問三二 鹿島市ニューデイル構想を見込んで市債の推移、残高のピーク、支払い(公債費)はどうなるか。

答弁三二 平成25年で85億円の市債が、平成30年では136億円となるが、臨時財政対策債(100%交付税)が55億円あり差引81億円の市債残高、又、残高のピークは平成34年間で年間14億円程度の支払いだが、8億円程度は交付税で収入の見込み。

総数147人 (死亡3、廃止1)		総数128世帯	
0歳~15歳	1人	1人世帯	107世帯
16歳~20歳	2人	2人世帯	19世帯
21歳~60歳	48人	3人世帯	2世帯
61歳以上	96人	4人世帯	0世帯

生活保護の実態(H24.12.18 現在)

安心・安全なまちづくりについて



稲富 雅和議員

質問一 高齢者の食事の重要性がよく言われる中、どうしても体の基礎代謝機能も衰え食事の量も減ってきます。少子高齢化が進行し、高齢者のみの世帯が増えてくると、簡単な食事で済ませてしまう実

策について

質問二 ドクターヘリが大きな注目を集めており、H25年度の秋を目標に県内でも導入予定で、現在、福岡、長崎県で運航を行っています。但し、運航の状況、基地病院、出動状況等をお伺いいたします。

答弁一 福岡県は久留米大学病院、長崎県はNHO長崎医療センターにあり、佐賀県は両方から来るエリアになつており出動件数は146件となつており、県内110カ所のヘリポートがあり、医師がドクターヘリに搭乗して速やかに傷病者の場所に行き機内、当該場所において治療を行います。

態がある中、低栄養状態から健康を損なっていくという事が言われています。

市の食事支援の取り組みの考え方や具体的な事業がどのようになつているのかお伺いいたします。

答弁 いろんな事業を行いながら、問題となつている事に支援を行つていきます。食の自立支援、生きがいデイサービス、愛の一声

ネットワーク運動、グループリビング(共同生活)、食生活改善事業、等栄養士会からの支援も行ってもらいながらの、安否確認と共に食事の支援も行っています。



速やかに搬送することのできる態勢を地域の実情を踏まえつつ全国的に整備されています。市内にも蟻尾山公園、母ヶ浦運動広場が指定されていますが、緊急の時はグラウンドも活用している。

保健行政 医療(健康寿命)について



水頭 喜弘 議員

質問 3大死因の大きな要因とされるメタボリックシンドロームは食べ過ぎや運動不足など、悪い生活習慣の積み重ねが原因となっており、生活改善によって、予防・改善ができますが予防に努めることは当然として医療費抑制していくことの取り組みとしてジェネリック医薬品による使用促進で抑制されると思いますが。

答弁 来年4月1日より「ジェネリックカードを使用します」というシールを配布し健康保険証に添付するようにする。

保健行政 介護(介護予防)について

一般質問

質問 給付費抑制として介護予防への取り組みを評価する「お元氣ポイント」を付与し、将来の介護保険料を軽減する制度を打ち出しているか。先進地で介護予防効果がポイント換金を上回り、高齢者1人当たり月額11円の費用削減効果があるところもあるが考えは。

答弁 佐賀県長寿社会財団の方でモデルケースとして今回は商品券等の付与となるようです。次回からは現金になるようです。ただし上限を設けてある。ボランティアは健康と生きがいを生み出すもので結果を見ながら十分に検討していきたい。

質問 家庭から排出される可燃ごみは年間約

環境行政 生ごみの堆肥化について

5000トンで、その内約40%が生ごみとして焼却処分されている。現在ごみの減量と有効活用を図る目的として生ごみを堆肥化する事業をモデルケースとして馬渡地区で取り組みられているがその現状と今後の取り組みについては。

答弁 23年5月より34軒の方にお願ひして生ごみを収集し3分の1が堆肥化されている。今後2000世帯までに拡大していきたい。

環境行政 水環境について
質問 公共下水道と浄化槽の公平性について今まで質問して参りましたが維持管理に平均下水道4万5千円に対し浄化槽6万円かかり1万5千円の差が生じている。この補助についての考えは。

答弁 現在下水道計画の見直しを検討している。浄化槽に対する補助金の検討は必要と思

市長の基本理念等について



中西 裕司 議員

質問 市長就任以来、市政運営は順調なのか。市政評価は。新風創造の理念で10項目の課題を提示して部局に7つのプロジェクトチームを作り検討を指示している。入札制度の見直しや中高一貫教育(私立小中の連携教育と思

うが)等である。第5次総合計画の見直しや行財政計画の将来見通しを提示され今搬の鹿島ニューデール政策を策定され市民に問題提起されている。非常に理路整然と目標達成までのプロセス(手続ないしは工程表)が明確で市民も行政評価しやすい。情報を市民に公開をして評

価を受ける手続が大切である。

入札制度の改革は順調か。最低価格制度は。現在、地元の本社のある会社を最優先して指名がありローカル発注の仕組みになっている。議会の要請が大きい。地域経済の活性化に最低価格制度導入も必要である。

道路問題について。ページをめくるとして10項目になる要望を前市長は県にしているが最初からやり直しをして現状に照らして行うべきだ。特にバイパス内の県道を市道に転換する作業が遅れている。当時の県側との協議がそのまま残っている。再協議を早急に行うべきである。駅前県道の市道移管がなければ駅前再整備はいつまでも出来ない。他の県事業との協議にも影響

を及ぼしかねない。

答弁 予定通り計画は順調と思う。市民の協力による所が大きい。今後財政基盤を慎重に検討する中で大型プロジェクトの推進を計る。県南西部の中心地としてにぎわい感を取り戻したい。

道路問題について課題はあるが指摘の件は現在県側と協議をしている。市の負担を少なくと考えている。交付税処置もあるが維持管理費も重むだろう。積極的に協議を重ねて行く。



一般質問

鹿島の産業振興と人づくり



松本 末治 議員

質問一 鹿島の「米」の収穫量は、昭和42年

1万4百トン。平成23年産4千7百70トン、45.8%と大きく減産されている。食味ランキング特A「さがびより」が増産されプレミアムブランドとして「佐賀牛」「佐賀海苔有明海一番」にプレミアムとして最高級ブランドのイチゴ「さがほのか」糖度11度以上、ミカン「根域制限高畝マルチ栽培」糖度14度以上が古川県知事直々の佐賀農産物最高ブランドとして売り込みをされている鹿島市としての対応は？

答弁 プレミアムとして

率で一箱12個詰め五千円、ミカン25kgで一万円と東京三越で販売されている。佐賀牛ブランド合格は鹿島産95頭(26%)で有明一番海苔は秋芽では出ていない。

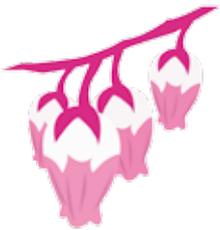
の雇用促進・人口維持に繋がる。今年夏場は、北部九州集中豪雨・台風の影響で漁業者の方は、有明海清掃で大変ご苦労されました。又、漁業者独自で海底耕運もされ24年産秋芽海苔良好に繋がっていると思うが、今後の対応についてお尋ねする。

質問二 漁業で諫早湾

干拓溜池の汚水排出で来年12月開門調査実施が秋芽海苔の収穫最盛期、タイラギ漁も始まる時期「鹿島漁業の最も重要な時期」これは何とかせんといかん。漁業就業者数を見ると45歳未満の後継者(と思われる)男性103人、七浦浜地区で10代20代がかなりおられ本

当に安定した漁場有明海を取り戻さなければなりません。この若者(後継者)のみんなが安心して嫁さんをお願い、子供さん3人以上(三世代同居)となれば、本

答弁 諫早湾開門調査実施については、九州農政局長とも直に話し合っている。一次産業の経営安定は、鹿島の雇用促進、人口の維持につながり子育て、老人介護へもプラスです。有明海再生の為、海底耕運用機具については漁協関係者にお伺いして対応する様にしたい。



「鹿島ニューディール政策」の一つである鹿島ショッピングセンターPioへの公的施設整備が検討されています。

文教厚生産業委員で現状視察を行いました。



年初より様々な行事に参加させて頂きました

●鹿島商工会議所農協・漁協主催 新年賀詞交換会



●鹿島市消防団 出初め式



●平成25年 成人式



行政視察報告

平成24年10月24日沖縄県読谷村 議会運営議会改革

25日名護市議会ギャラリー／26日那覇市議会先例集作成

【読谷村】 読谷村は沖縄県南西部に位置し、人口約四万人の村です。村役場は、米軍から返還された土地の造成地にあります。

- ① 出前議会、地域懇談会 出前議会は5つの小学校区単位で開催され、参加村民は各会場40名から50名、議会からの説明ののち、質問や提案を受ける形で行われています。その後村民とのコミュニケーションを図る為の懇親会が会費制で行われ、その場で様々な本音が出てくるとのことでした。
- ② 委員会提出議案 陳情や意見書等で議会として議案を提出するとのことでした。
- ③ 参考人制度 村の課題に対して、村民から聞き取り調査を行い、質問等の参考にするとのことです。
- ④ 執行部からの答弁書の事前受け取り 議員の一般質問に対し1回目の答弁書を受け取る制度で、質問の2日前までに受け取ることになっています。私は、執行部とのなれ合いになるのではとの疑問を持っていましたが、違った見方での質問につながり、議論を深めることが出来るとのことでした。なお一般質問は、18名の議員中議長を除く全議員が行っているとのことでした。

【名護市】 名護市は、沖縄県北部に位置し、東は太平洋、西が東シナ海に面した地であり、「やんばる」という沖縄県北部の中心都市であります。辺野古地区という、普天間基地代替予定地としても知られた都市であります。議員数は現在26名であります。名護市議会は、議会ギャラリーという市民に開かれた義会への取り組みを研修いたしました。



(議場の廊下を活用したギャラリー)

名護市議会では、「公共ホール音楽活性化事業」として、平成16年に委員会室を使ったコンサートが開催されました。その後平成20年から、美術展や写真展、紅型典等の芸術展示に取り組んでおられます。市民の議会に対する関心が薄く、傍聴も辺野古地区への海兵隊飛行場移転問題等の関心度が高い時期を除き少なかったそうです。



(議長席)



(傍聴席)

名護市は芸術活動が盛んな地であり、議場を音楽や絵画展示等に活用することで、市民の議会に対する関心が高まるのではということで始められました。議会開会中にも開催されていますので、展示物を鑑賞に来られた方々が傍聴にも来られることがあるようになったとのこと。ただつかわれるのは、委員会室や議場廊下であります。議場を使う議論がなされたそうですが、神聖な議場を使うことに対し反対があり、実現しなかったとのことでした。

鹿島市議会でも、開かれた義会を目指し、議場を使った子供議会を開催しましたが、今後このようにコンサートや美術展の開催も検討してもいいのかなと思います。

【那覇市】 那覇市は沖縄県の県庁所在地であり、人口32万人の都市であります。市議会議員数は40名であります。

那覇市議会では、議会運営先例集を作られ、スムーズな議会運営に寄与しているとのこと研修いたしました。

議会事務局職員は、19名でほかに非常勤職員7名がおられます。議会運営先例集は、議会事務局で作成されました。また議会便りも議事調査課職員5名によって作成されています。非常勤職員は、各会派に派遣され会派の職務の手伝いをされています。

議会先例集は、以前の議会で解釈の違いによって、議会運営が滞ることを防ぐために平成17年に作られました。以前の議会の議事録や、議会運営の記録等から探し出した作業だったそうで、作るには大変な苦勞があったとのことでした。

今次の改定版作成が行われていますが、現在の先例集を踏まえ、新たな事例を加える形で作成されるそうです。



(新市庁舎建設中の為、仮庁舎の議場)



(新議場計画円形議場)

市庁舎が建設中であり、25年3月間接予定であり、プレハブの仮庁舎でありました。新議場は議席を円形に配置する計画だそうです。

視察を終えての感想として。読谷村、名護市、那覇市それぞれの議会での議会改革への取り組みがユニークでありました。鹿島市議会としてすべての取り入れは出来ないとも感じましたが、読谷村の、執行部からの答弁事前受け取りや、名護市の議会ギャラリーなどは鹿島市議会でも検討に値すると思います。

米軍基地問題や、全国最低の県民所得等デメリットがありますが沖縄県の人口は増加しています。その理由として、観光への熱心な取り組み、全日空の貨物取扱ハブ空港化や那覇港の港湾のハブ港化への取り組み、政府による中国人観光客が来日時に、沖縄にトランジェットすることによるビザ審査の緩和等の施策による東アジアからの観光客増加による観光施策、豊かな自然特にエメラルドグリーンでのスキューバダイビング等魅力あふれる観光地と、タクシー初乗り500円等の物価が安いこと、内地からの来訪者に対しての沖縄県民の寛容さなどがあると思います。今後の鹿島市の施策の参考になると思います。

委員長 伊東 茂 副委員長 光武 学
委員 橋爪 敏、福井 正、松本 末治、角田 一美

議会あれこれ (平成24年10月～12月)

平成 24 年

【10月】

- 2日 議会だより編集委員会
- 3日 総務建設環境委員会行政視察(～5日迄)
- 5日 有明海沿岸道路建設促進佐賀県期成会要望活動
- 9日 議会だより編集委員会
- 11日 有明海沿岸道路西部地区建設促進期成会要望活動
文教厚生産業委員協議会
- 12日 総務建設環境委員協議会
- 15日 有明海沿岸道路西部地区建設促進期成会要望活動
- 17日 議会だより編集委員会
議会運営委員会行政視察(～26日迄)
- 29日 佐賀県西部広域環境組合議会第2回定例会
有明海沿岸道路西部地区建設促進期成会・国道207号
改良促進期成同盟会合同要望活動
- 30日 佐賀県後期高齢者医療広域連合議会本会議

【11月】

- 1日 有明海沿岸道路西部地区建設促進期成会要望活動
- 5日 一般会計・特別会計決算審査特別委員会(現地調査)
- 6日 一般会計・特別会計決算審査特別委員会
- 7日 一般会計・特別会計決算審査特別委員会
- 16日 有明海沿岸道路西部地区建設促進期成会・国道
207号改良促進期成同盟会要望活動
文教厚生産業委員協議会
- 14日 議会運営委員会
- 21日 全員協議会
総務建設環境委員協議会
文教厚生産業委員協議会
- 24日 第205回佐賀県市議会議長会正副議長会
- 30日 議会運営委員会

【12月】

- 3日 12月定例会開会・議案審議
全員協議会
まちなか活性化特別委員協議会
- 10日 委員長報告、議案審議、質疑、討論、採決
- 11日 議案審議、質疑、討論、採決
- 14日 総務建設環境委員会
- 20日 一般質問
- 21日 議会運営委員会
一般質問
文教厚生産業委員協議会
全員協議会
- 25日 委員長報告、議案審議、質疑
討論、採決、閉会
全員協議会
- 28日 議会だより編集委員会

行政視察受入状況 (平成24年10月～12月)

- 10月17日 千葉県柏市議会会派行政視察
- 18日 壱岐市議会行政視察
- 24日 千葉県流山市議会都市建設委員会行政視察
- 30日 愛知県豊田市議会行政視察
- 11月1日 大分県津久見市議会行政視察
- 12日 熊本県荒尾市議会会派行政視察
- 13日 岡山県浅口市議会行政視察
- 15日 宮崎県えびの市議会会派行政視察
- 19日 栃木県佐野市議会会派行政視察

議会あれこれ・行政視察受入れ状況

公表します 議長交際費

金額単位:円

区分	10月		11月		12月		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
弔意	0件	0	1件	15,000	0件	0	1件	15,000
見舞い	0件	0	0件	0	0件	0	0件	0
祝儀	0件	0	1件	3,000	0件	0	1件	3,000
会費	4件	17,000	2件	11,000	0件	0	6件	28,000
接遇	0件	0	0件	0	0件	0	0件	0
その他	1件	3,500	0件	0	7件	21,000	8件	24,500
合計	5件	20,500	4件	29,000	7件	21,000	16件	70,500

■発行 佐賀県鹿島市議会
佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1
TEL.63-2104 FAX.63-2314

■編集 議会だより編集委員会 ■印刷 松浦印刷株式会社

編集後記

新しい年の幕開けは鹿島市にも雪が降りました。元旦の雪は吉兆と言われ縁起が良いと言われてい
ます。なかなか日差しが見えない
日本経済も昨年末の政権交代に期
待を寄せる声が高まっています。
鹿島市に於いてもニューディール
構想が本年から本格的にスタート
します。この「まちづくり構想」
が街や市民の皆さんに活気を促す
事を期待します。

本年度、議会も積極的な足運び、
多くの市民の皆さんの声を聞き執
行部との議論を深めて行きたいと
考えています。更なる議会改革・
開かれた議会を今年も目指して行
きます。新しい年を迎え、皆様
のご健康とご多幸をご祈念申し上
げます。

【編集委員】
委員長 伊東 茂
副委員長 稲富 博
委員 徳村 紀

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。